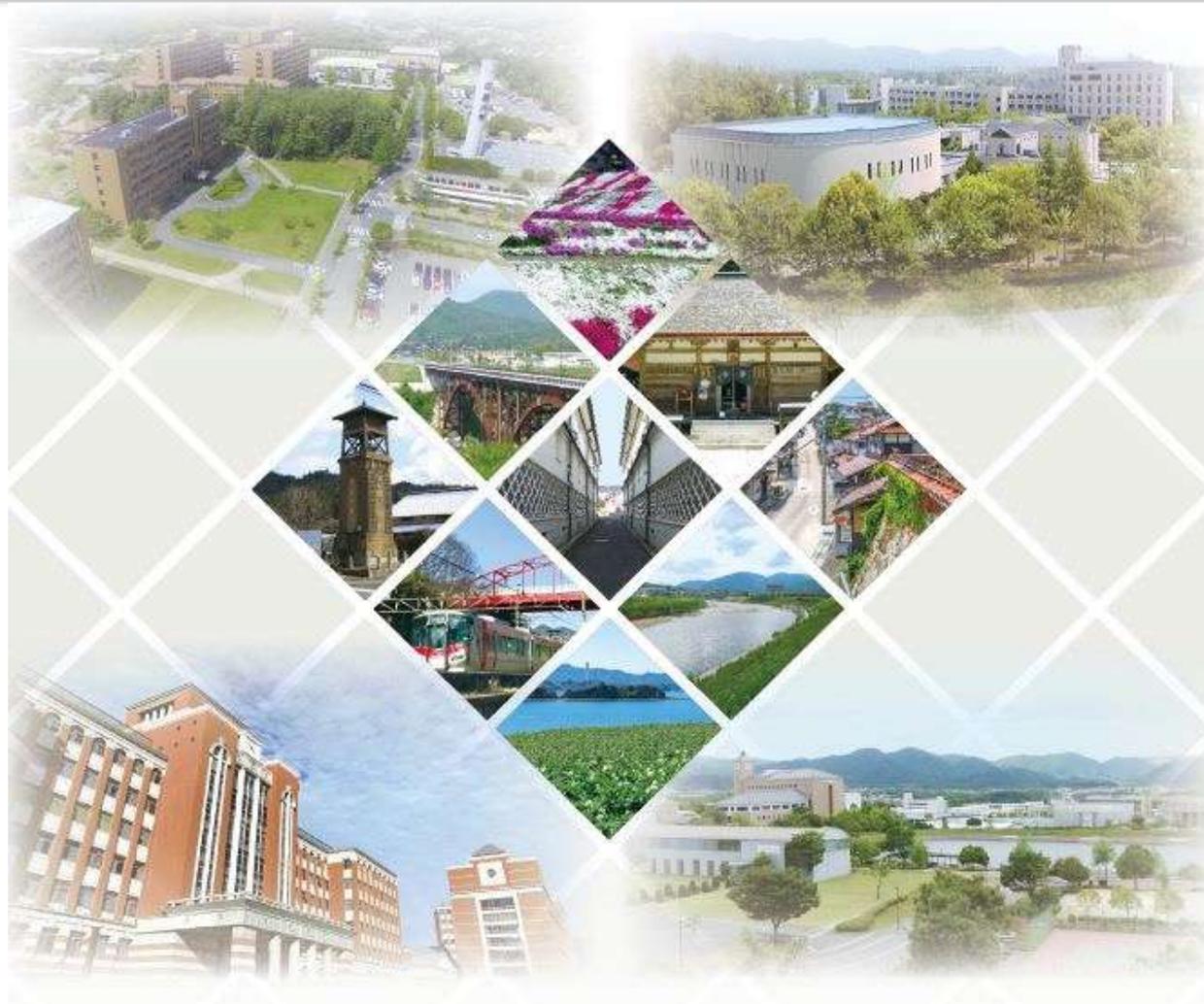


高垣市政（第1期）のあゆみ



令和3年12月現在





目次

第1期目の主な成果

- ・人口の増加 1
- ・企業の設備投資 2
- ・税収の増加 3
- ・第三者評価指標の上昇 4



目次

平成30年

- ・ 市長就任 5
- ・ 待機児童対策本部を設置 6
- ・ 市長定例記者会見スタート 7
- ・ 平成30年7月豪雨災害の発生 8
- ・ 東広島市被災者生活サポートボランティアセンターの開設 9
- ・ 高垣市長と語る～わがまちNo.1ふるさと夢トーク～始まる 10
- ・ 平成30年7月豪雨災害復旧・復興プラン策定 11
- ・ 映画「恋のしずく」公開 12
- ・ 「東広島市職員行動理念」の策定 13



目次

平成31年・令和元年

- ・「東広島ブランド地鶏生産者組合」の設立 14
- ・ベストプラクティス賞の開始 15
- ・多様な交通モードの実証実験の開始 16
- ・広島大学との「国際的研究拠点東広島の形成に関する協定」の締結 17
- ・元気輝きポイント制度の開始 18
- ・地域すくすくサポートを10の日常生活圏域にオープン 19
- ・有害獣処理加工施設の開設 20
- ・東広島イノベーションラボミライノ+がオープン 21
- ・「安芸津マル赤馬鈴しょ協議会」の設立 22



目次

令和2年

- ・ 東広島スマートエネルギー株式会社の 23
- ・ 「東広島ビジネスサポートセンターH i - B i z」の開所 24
- ・ 第五次東広島市総合計画策定 25
- ・ 東広島市新型コロナウイルス対策室の設置 26
- ・ 保育所等における待機児童の解消 27
- ・ 「T o w n & G o w n」構想の取組みを開始 28
- ・ 地域共生社会推進本部の設置HOTけんステーションの開設 29
- ・ 市立小中学校の普通教室への空調機器整備完了 30
- ・ 「S D G s 未来都市」に選定 31
- ・ ひがしひろしま環境フェア2020オンラインイベントの開催 32



目次

令和2年

- ・ オンライン酒まつりの開催 33
- ・ 東広島DMOの事務所開設 34
- ・ (仮称)八本松スマートインターチェンジ新規事業化 35
- ・ 高機能消防指令センターの運用開始 36
- ・ 高垣市長とのおしゃべりカフェの開催 37
- ・ 東広島市立美術館の開館 38
- ・ 広島交響楽団 第1回記念東広島定期演奏会の開催 39
- ・ 東広島市G I G Aスクール推進研修会の開催 40
- ・ デジタルトランスフォーメーション推進本部の設置 41



目次

令和3年

- ・ 西高屋駅南北自由通路等のデザイン決定 42
- ・ S D G s 未来都市東広島推進パートナーの登録数が100者に到達 43
- ・ 市民ポータルサイト運用開始 44
- ・ 東広島市地域包括支援センターの機能強化 45
- ・ 一般社団法人ディスカバー東広島の本格始動 46
- ・ (仮称)東広島消防署高屋分署の建設着手 47
- ・ ハザードマップ改訂と危険区域居住者への重点啓発 48
- ・ 広島大学、東広島商工会議所と共同でワクチン職域接種を実施 49
- ・ 乳幼児等医療費の支給対象の拡大 50
- ・ 広島中央エコパークの供用開始 51



目次

令和3年

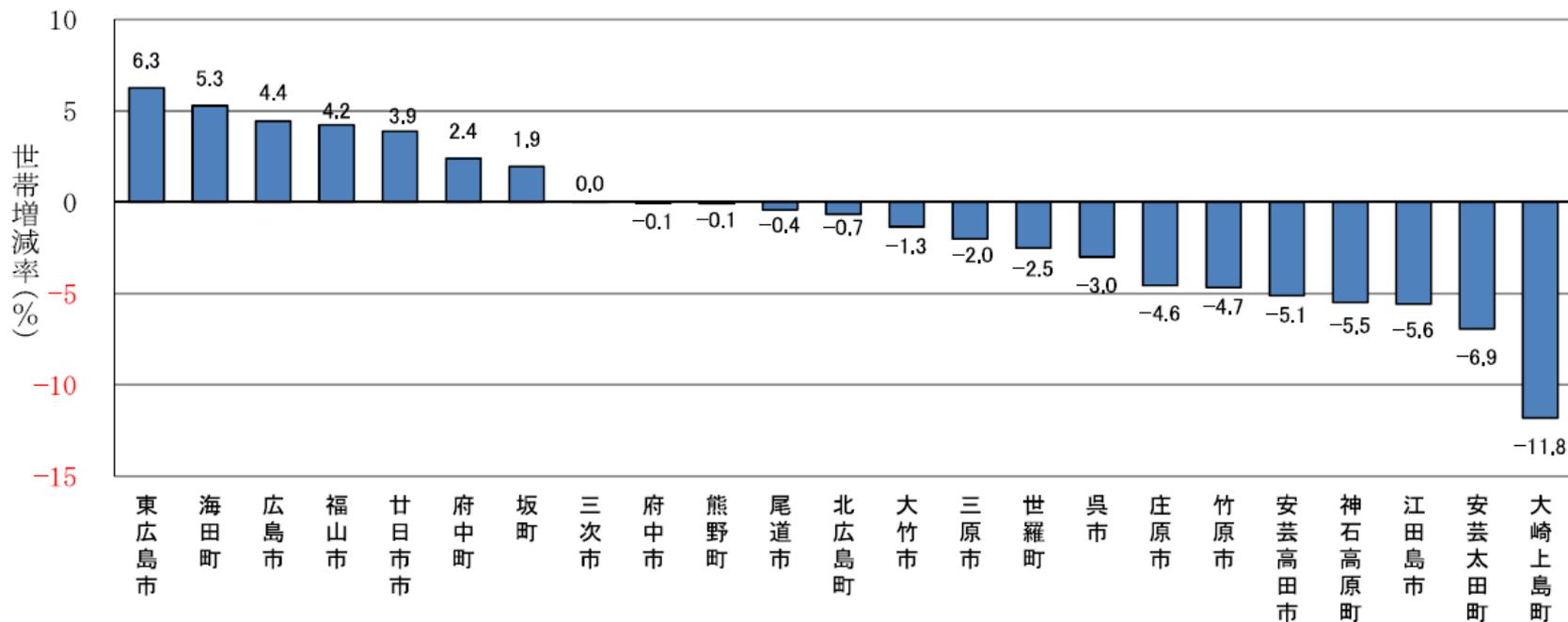
- ・ 広島大学フェニックス国際センター M I R A I C R E A の開館と
Town & Gown Office の稼働 52
- ・ やさしい未来都市会議の新設 53
- ・ 株式会社サンフレッチェ広島との
SDGs の推進に関する包括連携協定の締結 54
- ・ 第1回「ぶちうまいお米コンテスト in 東広島」の開催 55
- ・ 街なかにぎわい創出社会実験
「ALC'mon (アルカモン)」の実 56
- ・ 下見鏡山地区交通結節点 (大学会館前) の供用開始 57
- ・ 東広島国際フェスタ2021の開催 58

「人口の増加」



令和2年国勢調査によると、市内人口は196,608人となり、前回の平成27年国勢調査時から3,701人増加した。また、市町別の世帯増減率は、県内市町のうちで6.3%と最も高くなった。

図14 市町別世帯増減率—広島県（平成27年～令和2年）



令和2年国勢調査結果（令和3年11月広島県総務局統計課調べ）

「企業の設備投資」



直近3年間（平成30年から令和2年度まで）で延べ25の企業が設備投資を行い、新たな雇用を創出した。

企業誘致・設備投資の実績

年 度	企業数（社）	面積（ha）	雇用（人）
平成30年度	9	15.1	449
令和元年度	6	13.4	552
令和2年度	10	13.1	564
計	25	41.6	1,565

「税収の増加」



市税収入額は、3年前と比較して40億円を超えて増加し、12.6%の増加率となった。

市税収入額推移

(単位：百万円)

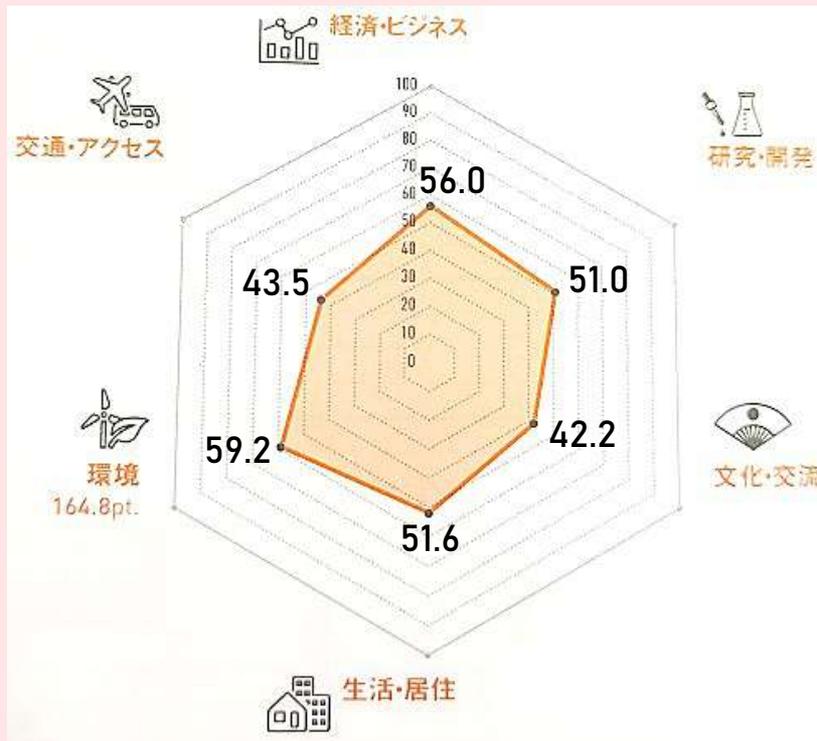
	H29	H30	R1	R2	R2-H29	増減率
個人市民税	11,832	10,165	10,521	12,535	703	5.9%
法人市民税	2,334	2,626	2,443	2,243	-91	-3.9%
固定資産税	15,863	15,324	15,936	19,128	3,265	20.6%
都市計画税	1,391	1,490	1,536	1,577	186	13.4%
軽自動車税	534	558	577	604	70	13.1%
その他	1,242	1,262	1,300	1,281	39	3.1%
計	33,196	31,425	32,313	37,368	4,172	12.6%

※その他は国有資産等所有市町村交付金、市たばこ税など

「第三者評価指標の上昇」



一般財団法人森記念財団都市戦略研究所がまとめた「日本の都市特性評価」によると、「経済・ビジネス」分野の偏差値が2.3ポイント上昇した。



日本の都市特性評価
「経済・ビジネス」

2018 偏差値 53.7



2020 偏差値 56.0
(2.3ポイント上昇)

※森記念財団 日本の都市特性評価DATABOOK2020

「市長就任」



前市長退任に伴う市長選挙が平成30年2月4日に実施された。高垣広徳氏（前広島県副知事）が初当選し、翌日の2月5日に本市にとって第5代目の市長として初登庁された。



「待機児童対策本部を設置」



平成32年4月の待機児童解消を目指し、平成30年3月に「待機児童対策本部（本部長：市長）」を設置するとともに保育課内に「待機児童対策室」を設置した。



保育コンシェルジュによる窓口対応

「市長定例記者会見スタート」



平成30年5月、市政に関する情報を市長自らが発信する場として毎月開催する記者会見を開始した。（令和2年12月現在、計37回、88項目）



「平成30年7月豪雨災害の発生」



平成30年7月5日からの豪雨により、経験のない災害となり、死者12名、行方不明者1名をはじめ、小中学校が臨時休校となるなど、市内全域に甚大な被害が発生した。

本市の災害の実情を、安倍首相に現地で説明し、早期の復旧・復興に向けた支援を要請した。

【平成30年7月豪雨の概要】

三津雨量観測（安芸津町）

累加雨量／521.0mm

（7/5 9時～7/8 19時）

最大時間雨量／67.0mm

（7/6 20時～7/6 21時）

【被害の概要】

全半壊・一部損壊住家 187件

床上・床下浸水住家 788件

道路 362件

河川 281件

農地 1,402件



「東広島市被災者生活サポートボランティアセンターの開設」



平成30年7月豪雨災害の被災者支援のため、社会福祉法人東広島市社会福祉協議会が東広島市被災者生活サポートボランティアセンターを開設した。

期間：平成30年7月～9月 依頼件数：534件 ボランティア活動者数：延べ6,043人
主な活動内容：土砂かき、災害ゴミ搬出、土嚢積み など



「高垣市長と語る ～わがまちNo.1・ふるさと夢トーク～ 始まる」



平成30年8月、市政に地域の声を反映させていくことを目的に、市長が住民自治協議会代表者と意見交換を行った。なお、第五次東広島市総合計画の策定にも、その意見を生かしていった。



将来のまちの方向性について講演



地域の課題についての意見交換

「映画「恋のしずく」公開」



平成30年10月13日に広島先行公開、10月20日に全国公開され、本市も、本映画と連動して「SakeCity東広島」キャンペーンを実施し、「日本酒の宴in銀座」、「ロケ地マップの作成」等観光振興に関する様々な取組みを展開した。



「東広島市職員行動理念」の策定



平成30年11月、理想とするまちのビジョンを全職員で共有し、組織の目指すべき姿を掲げ、それを実現するための基本的価値観として「東広島市職員行動理念」を策定した。この行動理念を徹底していくため、朝礼における唱和を行うとともに、ベストプラクティス賞を設けて、日々の実践を図った。

東広島市職員行動理念

1 使命



私たちは、
現在そして未来の市民の幸せのために、
変化する時代に、果敢に挑戦し、
地域が輝き、笑顔あふれ、愛され選ばれる東広島市を追求します。

2 価値観と行動指針



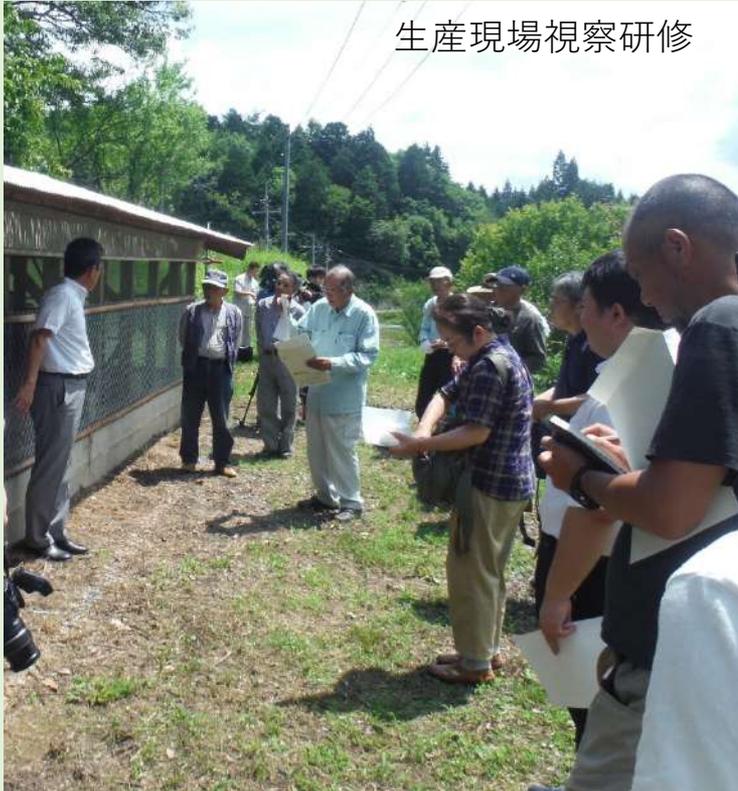
私たちは、東広島市を愛し、自らの仕事に誇りを持ちます。
私たちは、笑顔とあいさつを忘れず、公正公平、誠実に行動します。
私たちは、市民起点で、スピードとコストを意識し、成果を追求します。
私たちは、自己研鑽に励み、常にチャレンジ精神と情熱を持ち続けます。
私たちは、市民とのより深い信頼関係を築くために、積極的に意見を聴き、情報を発信します。
私たちは、職員相互に連携し、支え合い、風通しの良い組織を目指します。

「東広島ブランド地鶏生産者組合」の設立



令和元年5月、東広島ブランド地鶏の市場化に向けて、生産者間の連携強化を目的とした生産者組合が設立された。令和元年10月からは試験販売を開始している。

生産現場視察研修



「ベストプラクティス賞の開始」



令和元年6月、「東広島市職員行動理念」推進のため、職員の模範的な取組みを表彰する制度を開始した。

【受賞事例】

- ・マイナンバーカード普及（PR動画作成）の取組
- ・新型コロナウイルス感染症対策への取組（PCR検査に係る検体採取所の設置及び運営）など



「多様な交通モードの実証実験の開始」



多様な移動手段の可能性を探る実証実験として、令和元年8月からカーシェアリング、10月から将来の自動運転社会の実現を見据えたデマンド交通（広島大学循環バス）、11月から生活交通におけるデマンドタクシー交通（入野デマンド交通）の実証実験を開始した。



広島大学循環バス



河内町入野デマンド交通

「広島大学との「国際的研究拠点東広島」の形成に関する協定」の締結



令和元年10月、広島大学と相互の連携を強化し、東広島地域における国際的研究拠点の形成とそれに伴う地域社会の一層の活性化に資するため、協定を締結した。



【連携事項】

- ①イノベーションの創出に関する事
- ②研究力の向上に関する事
- ③教育及び人材育成に関する事
- ④国際化の推進に関する事
- ⑤産学連携拠点の構築に関する事
- ⑥交通アクセスの向上に関する事
- ⑦海外からの研究者や留学生等の生活環境向上に関する事
- ⑧その他国際的研究拠点の形成に伴う地域社会及び広島大学の活性化に関する事

「元気輝きポイント制度の開始」



令和元年10月、市民の健康寿命の延伸を目指して、高齢者を中心とした健康づくり、介護予防活動や地域でのボランティア活動を推進するために開始した。

対象となる活動を行い、「元気輝きポイント手帳」にポイントを1年間貯めることで、報奨金が支給される。

ポイント対象となる通いの場での介護予防活動
(百歳体操)



「地域すくすくサポートを10の日常生活圏域にオープン」



令和元年11月、東広島版ネウボラの構築に向けて、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行う地域の身近な拠点として、西条北地域、八本松地域、志和地域、高屋地域、河内地域に、地域すくすくサポートをオープンし、全ての日常生活圏域に拠点を整備した。



すくすく赤ちゃん相談会（西条北地域）



オープニングイベント（河内地域）

「有害獣処理加工施設の開設」



令和元年11月、捕獲した有害獣（イノシシ、シカ）の食肉活用拠点施設として、豊栄町に「有害獣処理加工施設」を開設した。

食肉専門店と提携した、ソーセージやベーコン等の商品開発を行っているほか、地域資源としてジビエを活用し、東広島市の地域活性化に貢献する高品質ブランド「栄肉」の確立を目指している。



東広島ジビエセンター



ジビエを活用した料理

「東広島イノベーションラボミライノ+がオープン」



令和元年11月、多様な人材を引き寄せて結びつけることで新たな価値を創造するイノベーション拠点「ミライノ+」を開設した。

「未来の〇〇を創る」というビジョンを掲げ、これに共感する人々が集い、一緒に挑戦していく。



9角形のロゴは、市内9つの町に住む人々の交流をイメージし、そこから生まれる価値が輝きを放つ象徴となっている



ビジョンに共感する人が輪になってアイデアを交えながら、様々な問題をミライノ+から解決することを目指している

「安芸津マル赤馬鈴しょ協議会」の設立



令和元年11月、安芸津マル赤馬鈴しょの生産振興、後継者育成などを目的として行政、農協、民間企業等の協働による協議会を設立した。

【参画団体】

マル赤馬鈴しょ出荷組合、芸南農業協同組合、イオンリテール（株）、広島県、東広島市

【主な活動内容】

安定生産に向けた取組、販売促進、情報発信、加工品開発



「東広島スマートエネルギー株式会社の設立」



令和2年2月、省エネ創エネの利用促進やエネルギーの地産地消を推進するため、賛同する企業・団体とともに東広島スマートエネルギー株式会社を設立した。



【参画団体】

(株) エネルギア・ソリューション・アンド・サービス、
中電技術コンサルタント(株)、広島ガス(株)、
賀茂地方森林組合、(株) 広島銀行、東広島市

【主な事業内容】

- ・市有施設への売電
- ・市内の再生可能エネルギーの買電
- ・ESCO事業※等省エネルギー貢献事業
- ・地域還元事業

※エネルギーサービスカンパニー事業＝顧客の光熱水費等の経費削減を行い、削減実績から対価を得るビジネス形態

「東広島ビジネスサポートセンター Hi-Biz」の開所



令和2年2月、中小企業等の強みを引き出し経営改善を図るため、本市と東広島商工会議所が連携し、専門家によるハンズオン（伴走型）支援を行う相談所を開所した。



Hi-Biz
Higashihiroshima Business Support Center



Hi-Bizとの相談から生まれた「さくらや」のアマビエの和菓子

「第五次東広島市総合計画策定」



令和2年3月、2030年に向けた本市の新たな将来ビジョンと発展の方向性を示し、「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島」を将来都市像に掲げる総合計画を策定した。

第五次東広島市総合計画
令和2(2020)年～12(2030)年

概要版

未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市
—住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島—

令和2(2020)年3月
東広島市

地域別計画

東広島市を構成する地域には多くの地域特性があり、従来から独自のまちづくりが展開されてきました。第五次東広島市総合計画の策定に当たり、改めてその地域特性に注目し、それぞれの地域資源を活かしたまちづくりを進めていくために、市内の9つの地域ごとに目指す方向性を検討し、「地域別計画」として定めました。

あるべき未来の姿の実現を目指すためには、行政、市民、各種団体が意見を話し合っており、その姿に近づけていく施策や取組を共に進めていくことが必要です。この地域別計画の策定を契機として、今後取り組むべきこと、市民の皆さんと共にあるべき地域の姿を追い求めます。

福喜地域
自然と人が共生する
新たなライフスタイルに出会える
交流のまち
【主要な取組】
●地域資源を活かした観光の振興
●暮らしを支える集落地区の充実 など

豊栄地域
豊かな自然の中で
ゆとりある暮らしが楽しめる
体験・交流・定住のまち
【主要な取組】
●農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化
●暮らしを支える集落地区の充実 など

河内地域
豊かな自然と空港や
鉄道等の交通利便性を活かした
ゆとりと活力のあるまち
【主要な取組】
●農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化
●都市成長基盤の強化・充実 など

志和地域
田園環境との調和やインターチェンジ等の
アクセシビリティ・親近性を活かした
仕事とともに新たな交流が
生まれるまち
【主要な取組】
●地域資源を活かした観光の振興
●暮らしを支える集落地区の充実 など

八本松地域
先端産業と田園風景の調和や
都市との近接性を活かした
良好な居住環境が整ったまち
【主要な取組】
●産業イノベーションの創出
●都市成長基盤の強化・充実 など

西条地域
新たなテクノロジーによる
次世代の創造と
学術・研究・国際化を先導するまち
【主要な取組】
●産業イノベーションの創出
●学術研究機軸の発展による都市活力の創出 など

高瀬地域
交通利便性や
地域資源である大学の機能を活かした
健康・福祉と交流のまち
【主要な取組】
●暮らしを支える集落地区の充実
●健康寿命の延伸による生涯研究社会の実現 など

高屋地域
瀬戸内海に臨む穏やかな気候と
豊かな自然環境を活かした
共に支え合う共生のまち
【主要な取組】
●農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化
●多様な自然環境の力を活かしたまちづくり など

安芸津地域
瀬戸内海に臨む穏やかな気候と
豊かな自然環境を活かした
共に支え合う共生のまち
【主要な取組】
●農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化
●多様な自然環境の力を活かしたまちづくり など

総合計画では初めて9つの町の区域ごとに「地域別計画」を定めた

「東広島市新型コロナウイルス対策室の設置」



新型コロナウイルスの感染者が本市でも発生し、感染拡大より影響を受けている市民及び事業者を迅速に支援するため「東広島市新型コロナウイルス対策室」を令和2年4月17日付けで設置した。

【主な対策の概要】

- ・ 特別定額給付金
- ・ 感染拡大防止協力支援金
- ・ ドライブスルー方式による検体採取所の運営
- ・ キャッシュレス決済20%還元キャンペーン



検体採取所

事業費予算総額

23,253,560千円

(予備費を含めた補正分のみ(第8号補正分まで))

がんばれ! まちのお店 × 東広島市 × PayPay

東広島がおトク!
対象店舗で最大20%戻ってくるキャンペーン!
対象店舗でPayPay残高でのお支払いで*

最大 20% 戻ってくる

付与上限
2,000円相当 回. 20,000円相当 期間

キャンペーン期間: 2020年 10月1日 ▶ 12月31日まで

「保育所等における待機児童の解消」



保育の受け皿の確保及び保育士の確保により、令和2年4月1日時点で、60施設の保育所等において、入所者数が4,878人となり、待機児童が0となった。



令和2年4月に開所した桜が丘認定こども園

「Town & Gown」構想の取組みを開始



令和2年4月、広島大学内に「Town & Gown Office」準備室を設置し、タウン(街)とガウン(大学や学生・教員等)が一体となり、地域社会の課題解決や魅力的なまちづくりを行う「Town & Gown」の取組を広島大学と共同で開始した。



大学は知見や研究力を、
市は様々な行政データを提供し、
二人三脚で市の課題解決に取り
組む



ひがしひろしま学生・地域塾活動報告会で地域における活動内容と課題をテーマに発表する学生

「地域共生社会推進本部の設置 HOTけんステーションの開設」



だれもが安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた取り組みとして、令和2年4月に地域共生社会推進本部を設置し、6月1日に社会福祉課内に総合相談窓口として「HOTけんステーション」を開設した。



市役所の各課をつなぐ庁内連携担当コミュニティソーシャルワーカーが常駐

「市立小中学校の普通教室への 空調機器整備完了」



近年の酷暑に適切に対応するとともに、教育環境の向上を図ることを目的として、令和元年度に完了した黒瀬・安芸津地区に続き、令和2年6月にその他の地区の小中学校29校の普通教室の空調機器整備が完了した。この29校分の事業費は2,416,346千円で、本市初のPFI事業※で実施した。



※PFI=プライベート・ファイナンス・イニシアティブ：民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法

「SDGs 未来都市」に選定



令和2年7月17日付けで、内閣府からSDGs 未来都市に選定された。SDGs 未来都市は、平成30年（2018）年度から選定が始まり、本市は中国地方の自治体では7番目、広島県内では広島県に続き、県内市町では初。今回は本市を含む33都市が選定され、全国では93都市となった。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「ひがしひろしま環境フェア2020オンラインイベントの開催」



令和2年8月、市民の環境保全への意識高揚を図るため、コロナ禍における新たな取り組みとして実行委員会によるオンライン形式で開催した。特設サイトのPV数は30万PVを超え、所定の効果を得ることができた。

ひがしひろしま環境フェア 2020実行委員会 (12企業・団体)

- ・エコネットひがしひろしま
- ・(株) 総合広告社
- ・広島ガス (株)
- ・東広島郷心会
- ・広島トヨタ自動車 (株)
- ・(株) 東広島タクシー
- ・賀茂地方森林組合
- ・光和商事 (株)
- ・(株) エフピコ
- ・(株) プレスネット
- ・広島県
- ・東広島市

「オンライン酒まつりの開催」



令和2年10月、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初のオンライン上での開催となった。当日のライブ映像は、関東圏や関西圏を中心に14万人以上が視聴し、本市の日本酒文化を広く発信することができた。



【主な内容】

- ・公式クラウドファンディング「#酒まつり 蔵ファン みんなで乾杯」の実施
- ・乾杯も音楽もエールだ！「酒まつりカンパイ！ラジオ」YouTubeを利用した公式バーチャルラジオ開局
- ・各イベントの歴史や酒まつりならではのコンテンツの配信（東広島市内の杜氏のお話の配信や、市内小中学校の和 cultura 発表の配信など）

「東広島DMOの事務所開設」



令和2年10月、観光による地域づくりを戦略的に推進するため、東広島DMOの事務所を開設し、地域資源が持つ魅力を発信していくとともに、多様な世代の交流や地域経済の活性化に取り組む。



豊栄町（トムミクロファームにおける体験型観光イベント）



安芸津町（サップ）



SNSを活用して地域資源の魅力を情報発信

「（仮称）八本松スマートインターチェンジ 新規事業化」



令和2年10月、今後のまちづくりを進めるうえで重要な役割を担う、本市で5番目のスマートインターチェンジの事業化が決定した。整備後は、周辺道路の渋滞緩和や「道の駅西条 のん太の酒蔵」と連携した観光振興等、経済・産業・生活など様々な分野において大きな効果が期待される。



R2.11.13開催の伝達式



「高機能消防指令センターの運用開始」



令和2年10月、119番通報受信体制や大規模災害対応能力を強化するため、新たな機能を加えた高機能消防指令センターを整備し、運用を開始した。これにより地震や豪雨発生時に、直轄する市町の災害対策本部とリアルタイムに情報共有が可能となった。



「高垣市長とのおしゃべりカフェの開始」



令和2年10月、現在そして未来の市民の幸せに資する市政運営の参考とするため、市民が地域や様々な分野で取り組む活動について、テーマ別に市民と市長が自由に意見を交換する場を設定した。第1回目は、「子育て」をテーマに「子育て」に関わる9つの団体が参加し、グループでトークを行った。



「東広島市立美術館の開館」



令和2年11月、市立美術館が西条栄町に移転オープンした。開館記念式典には約100人の関係者が出席し、開館初日には約3,200人が特別企画展を観覧した。



小学生を美術館に招待し、作品鑑賞マナーや美術館の役割を勉強してもらう事業を開催



幾何学的なユニットの構成によって外部から差し込む光を絞りつつ、内部からは開放的な外を眺めることが可能な窓

「広島交響楽団 第1回記念東広島定期演奏会の開催」



1月に締結した「連携・協力に関する協定」に基づき、広島交響楽団の第1回定期演奏会が東広島芸術文化ホールくららで開催された。



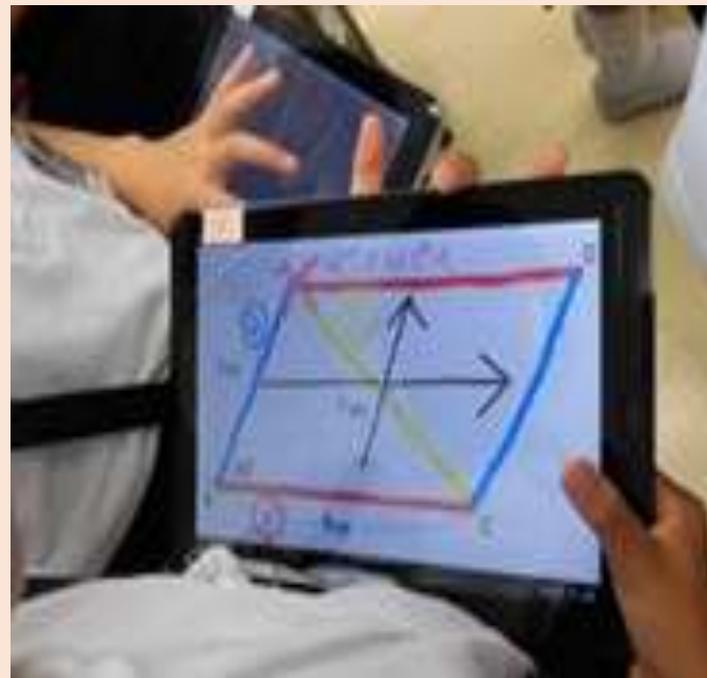
「東広島市GIGAスクール推進研修会の開催」



令和2年11月、国が進めるGIGAスクール構想を前倒しにして、市内小中学校の全児童生徒に配備する1人1台タブレットの活用の推進について、市内教職員と保護者を対象として、市長及び大学教授等の講演を東広島芸術文化ホールくららで開催した。



デジタル化した各種教材を使用した授業の様子



デジタル化した各種教材

「デジタルトランスフォーメーション 推進本部の設置」



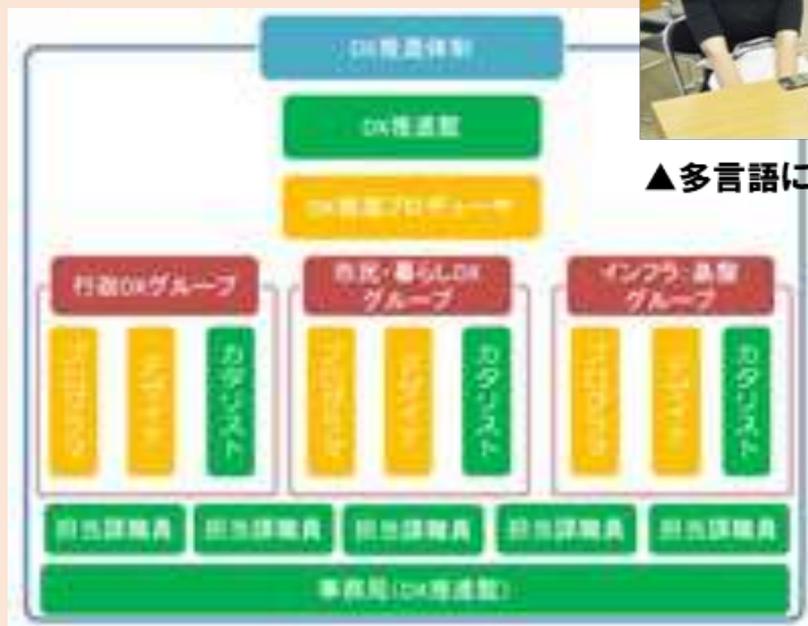
令和2年11月、デジタル技術を活用して、人々の生活をより良いものへと変革するデジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation：DX）を総合的かつ効果的に推進するため、東広島市デジタルトランスフォーメーション推進本部を設置した。



▲多言語による相談窓口



▲契約システムイメージ図



▲CRMポータル(イメージ)

「西高屋駅南北自由通路等のデザイン決定」



令和3年2月、JR西高屋駅の南口と北口を結ぶ南北自由通路や情報の収集・発信と賑わい創出の拠点として整備する情報ラウンジ棟などの基本デザインを決定した。



位置図

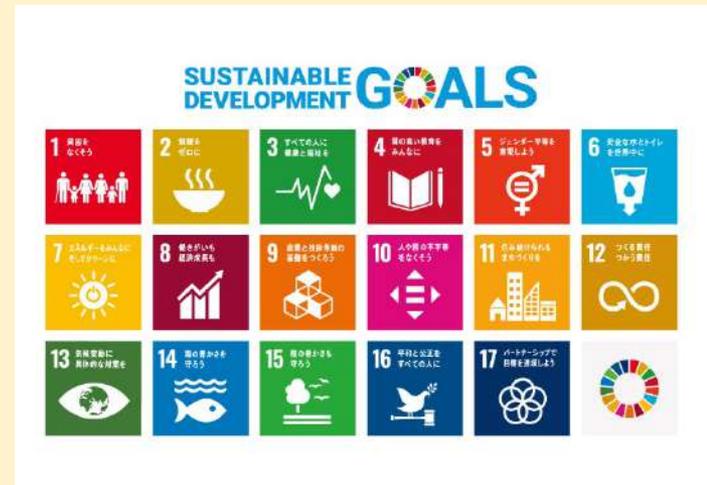


南北自由通路整備イメージ

「SDGs 未来都市東広島推進パートナーの登録数が100者に到達」



令和3年3月、令和2年11月から募集を開始した「SDGs 未来都市東広島推進パートナー」に登録いただいた企業・団体等の数が100者に達した。

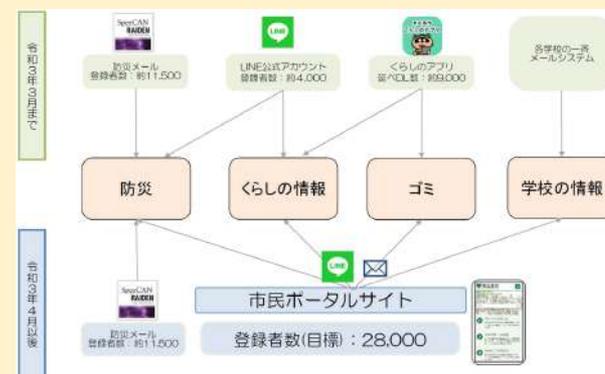
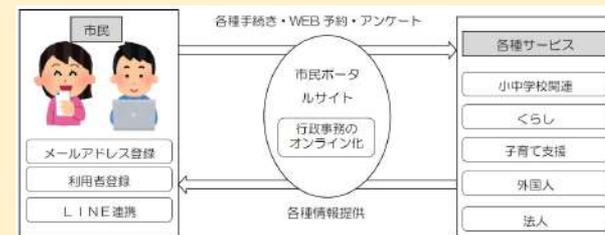


SDGs 特設サイト「SDGs 未来都市ひがしひろしま」
(URL:hh-sdgs.jp)

「市民ポータルサイト運用開始」



令和3年4月、行政サービスにおけるデジタルトランスフォーメーション（DX）推進の一環として、新たにインターネットにより市民と市役所をつなぐ新たな行政サービスの窓口となる「市民ポータルサイト」を開設した。



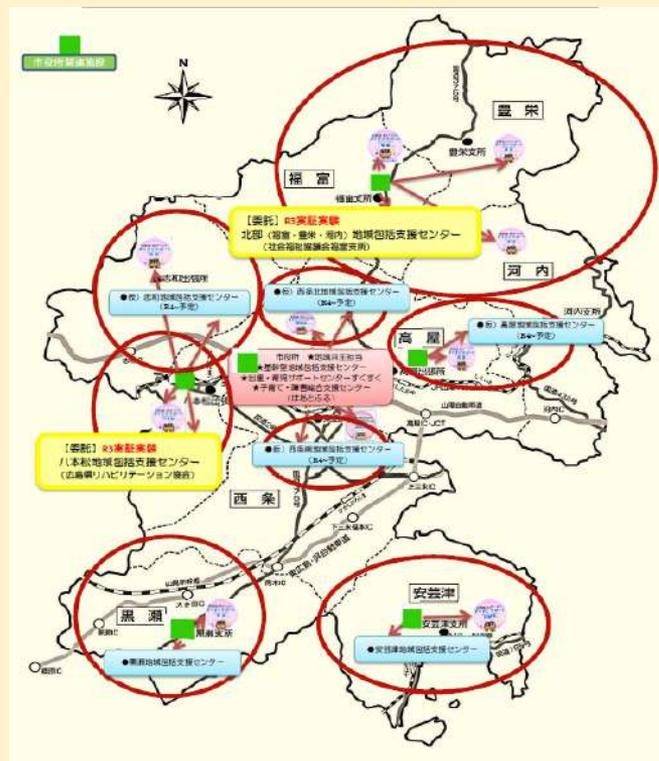
市民ポータルサイトの画面イメージ

「東広島市地域包括支援センターの機能強化」



令和3年4月、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを進める中で、八本松及び北部（福富・豊栄・河内）地域を担当する地域包括支援センターの運営を社会福祉法人に委託し、地域共生社会の拠点となる高齢者の相談窓口を身近な場所に設置した。

これまで	これから
近くには高齢者相談センターしかない…	日常生活圏域に『地域包括支援センター』が設置され、 身近な場所で相談ができます！ (全圏域は令和4年度からとなります。)
高齢者相談センターではプランまで作れない…	相談支援だけでなく、 要支援プランの作成まで継続して行います！
担当者が異動で変わってしまう…	地域に密着した法人に委託することで、 一貫した支援ができます！
複雑な家族の相談事などが増えている…	内容に応じて、適切な窓口を紹介するなど、 地域共生社会を目指したネットワーク機能を強化します！



地域包括支援センターの機能強化

各日常生活圏域における機能連携イメージ

「一般社団法人ディスカバー東広島 本格始動」



令和3年4月、観光による地域づくりを推進するため、東広島市が中心となり設立した「一般社団法人ディスカバー東広島」が、「候補DMO」として正式登録された。あわせて、公式WEBサイトを開設し、団体の公式ロゴマークも決定した。



ディスカバー東広島のロゴ

ディスカバー東広島公式WEBサイト (URL:<https://east-hiroshima.info/>)

「(仮称)東広島消防署高屋分署の建設着手」



令和3年●月、令和5年4月の開署を目指し、(仮称)東広島消防署高屋分署の建設に向けて工事に着手した。



イメージ：安芸津分署

「ハザードマップ改訂と危険区域居住者への重点啓発」



令和3年5月、市民に災害発生の危険に対する知識を深めてもらい、いざというとき迅速に避難することによって、自らの命を守ってもらうために、最新の区域情報等を掲載したハザードマップに改訂し、市内全戸に配布した。併せて、土砂災害警戒区域等の危険区域に居住されている住民に対して、重点啓発を実施した。



前回の地図（平成29年）



今回の地図（令和3年）

「広島大学、東広島商工会議所と共同で ワクチン職域接種を実施」



令和3年6月、広島大学と共同で、広島大学の学生、教職員を対象にしたワクチンの職域接種を、7月には広島大学、東広島商工会議所と共同で、市内企業の従業員及び市立小中学校の教職員を対象としたワクチンの職域接種を実施した。



「乳幼児等医療費の支給対象の拡大」



令和3年8月、乳幼児等医療費の通院の支給対象を「小学校第3学年まで」から「小学校第6学年まで」に拡大した。

乳幼児等医療費支給制度【令和3年8月1日から】

～ 乳幼児等が医療機関で保険診療を受けた際に医療費の一部を支給する制度です（所得制限有） ～

受給対象者	支給対象	一部負担金（自己負担額）
12歳（小学6年生） までの児童	入院 通院 保険薬局での調剤 補装具	1 医療機関につき 入院 1日 500円/月 14日を上限 1 医療機関につき 通院 1日 500円/月 4日を上限 ※保険薬局での調剤、補装具等は、一部負担金はありません。
15歳（中学3年生） までの児童	入院のみ	1 医療機関につき 入院 1日 500円/月 14日を上限

※ 日本スポーツ振興センターの給付対象となる場合は、受給者証を提示された旨を日本スポーツ振興センターの給付請求をする際必ず申し出てください。
なお、申し出がない場合、重複給付となって返還していただくこととなりますのでご注意ください。

※ 200床以上の病院での紹介状なしの初診、健康診断、予防接種、歯列矯正、室料差額、おむつ代など保険支給が行われないものや、入院時の食事療養費は支給されません。

「広島中央エコパークの供用開始」



令和3年10月、本市、竹原市、大崎上島町の「ごみ」、「し尿」を共同処理する新しい施設「広島中央エコパーク」の供用を開始した。

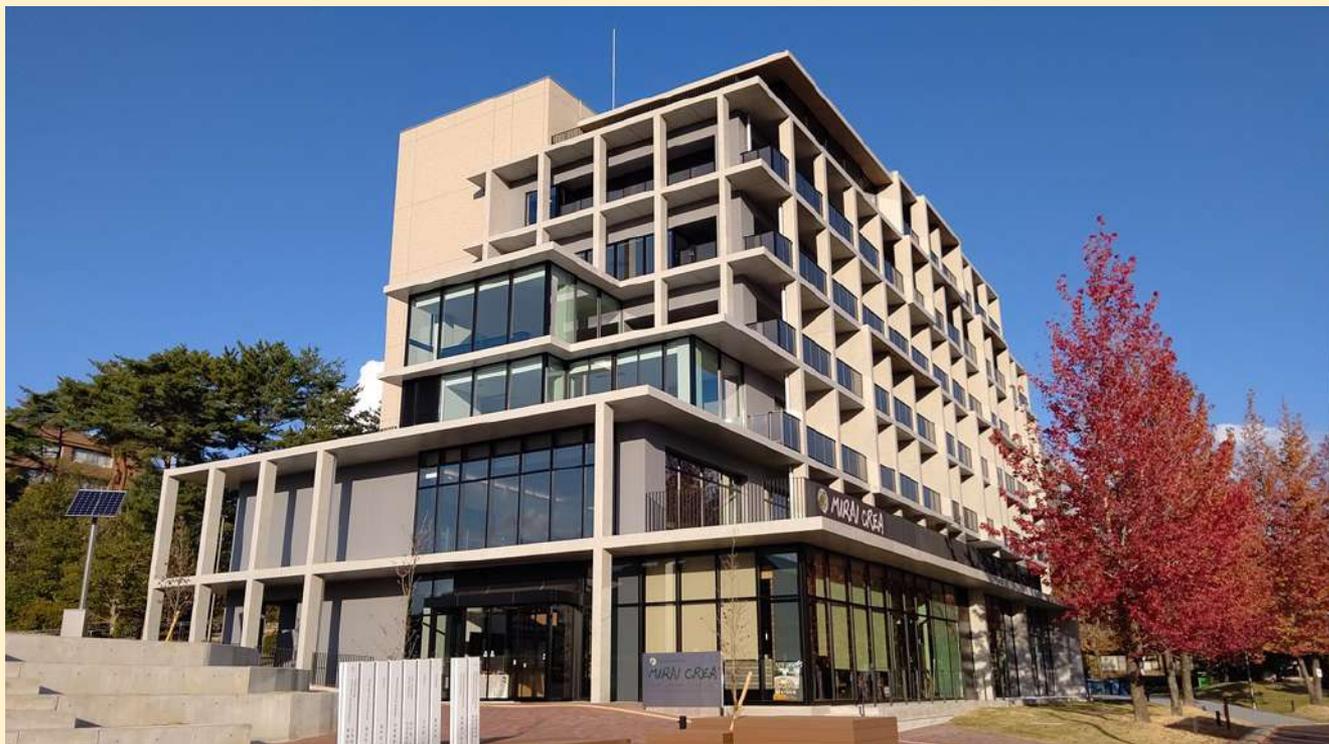


「広島大学フェニックス国際センター MIRAI CREAの開館」と Town & Gown Officeの稼働



イノベーションや新たなビジネスを創出するとともに、内外の多様な人々との交流や知識の循環を促す機能を持った拠点施設として、広島大学フェニックス国際センター「MIRAI CREA」が開館した。

また、これに合わせて、「Town & Gown Office」を正式に稼働させた。



「やさしい未来都市会議の新設」



社会情勢の変化や新たな政策課題に対応するため、有識者や市民から幅広く意見を聴く仕組みを「やさしい未来都市会議」として位置づけ、第1回目となる全体有識者会議を開催した。



「株式会社サンフレッチェ広島との SDGsの推進に関する包括連携協定の締結」



株式会社サンフレッチェ広島と、女性活躍推進や平和・スポーツ振興に関する
ことなどを中心としたSDGsの推進に関する協定を締結した。



「街なかにぎわい創出社会実験 『ALC' mon (アルカモン)』の実施」



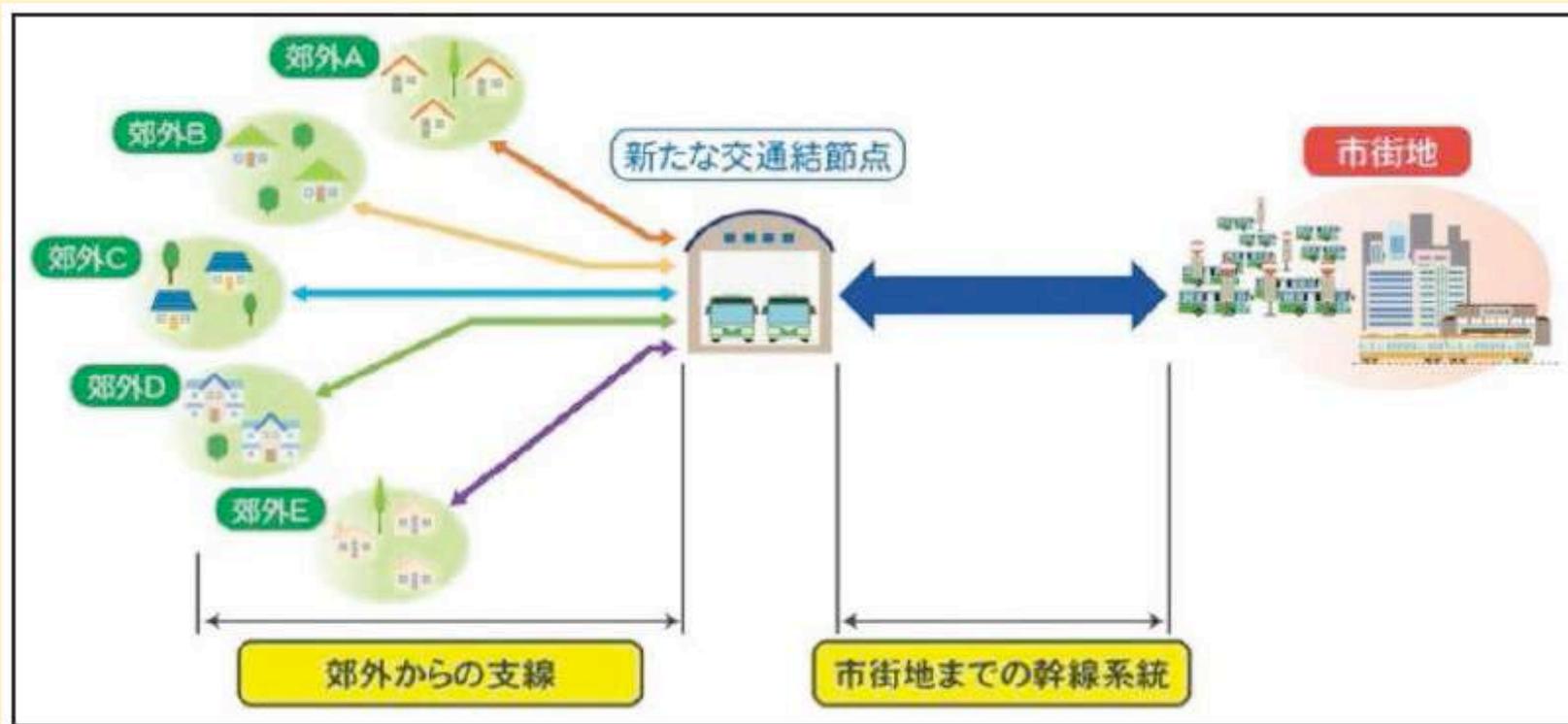
西条駅周辺を「歩いて楽しいにぎわいのある街」にするため、官民が連携し、ブルバール歩道や西条中央公園に賑わいを創出する社会実験を実施した。



「下見鏡山地区交通結節点（大学会館前）の 供用開始」



利便性と路線再編による運行効率の向上を図るため、バス交通結節点を整備した。



「東広島国際フェスタ2021の開催」



言語や文化の違いを越えて、多くの市民が交流できる機会を創出するため、「東広島国際フェスタ2021」を初めて開催した。

